

草野歯科通信

2016年 春号

原因不明の皮膚疾患は金属アレルギーかも



vol.17

金属アレルギーといえは、アクセサリーを思い浮かべる方が多いかもしれませんが、お口の中の金属もアレルギーの原因になるのを知っていますか？原因不明の皮膚疾患は、もしかするとお口の中に問題があるかもしれません。

歯科用の金属でアレルギーは起こるの？

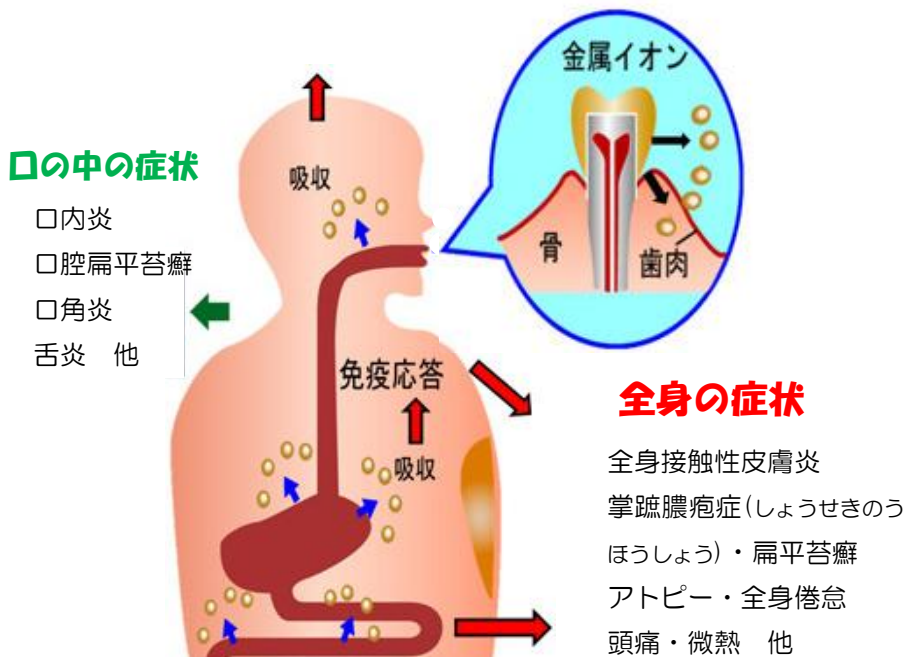
歯の治療では銀色の詰め物やかぶせなど、様々な金属を使用します。お口の中の金属は唾液によって吸収され、血液に乗って全身に回るため、金属アレルギーは全身のどこにでも起こる可能性があります。お口の中の金属が原因で、ある日突然、金属アレルギーの症状を引き起こす場合があります。

～アレルギーになりやすい歯科金属～

コバルト、スズ、パラジウム、インジウム、イリジウム、クロム、ニッケル、水銀 他

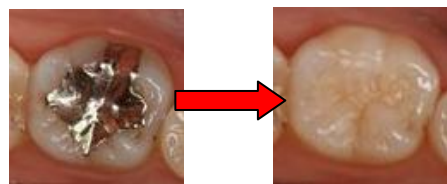
金属アレルギーの症状って？

歯科による金属アレルギーの症状は、お口の中だけでなく直接金属が触れていない場所にも現れます。普段からアクセサリーにかぶれやすかったり、長期間治療しても治らない皮膚疾患があったり、詰め物やかぶせを入れた後に発症したような感じがある方は、金属アレルギーの可能性がります。



金属アレルギーって治るの？

まず、どの金属がアレルギーの原因になっているのか、皮膚科でパッチテストを行います。歯科金属アレルギーの治療では、アレルギーの原因となっている金属を取り除き、金属アレルギーの心配がない詰め物やかぶせに交換していきます。金属を全て取り除いても、症状が治るまでには数カ月、人によってはそれ以上かかることがあります。



金属アレルギーの最大の予防策とは！？

歯科金属アレルギーにならないためには、虫歯や歯周病を予防し、金属の詰め物やかぶせを増やさないことが最大の予防策です。そのためには、毎日の食生活や歯みがき、歯科医院での定期的なメンテナンスが大切です。

草野歯科医院

〒700-0815

岡山市北区野田屋町2-7-13

TEL 086-221-1174

<HP> <http://kusano-dc.jp>